古文単語 本文で意味を決める ②

高校／同じ単語でも本文によって意味が変わる

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

日付 ＿＿＿＿＿＿＿＿

各組（1〜4）の――線の語の意味を、見出しの横の「意味の一覧」から選び、右の「番号」欄に番号を書きなさい。
その意味に決めた手がかりを、――線の語以外の本文から、右の「手がかり」欄に書き抜きなさい（短い語句でよい）。
同じ語でも本文によって番号が変わります。

1 あやし （形容詞シク活用） 意味の一覧 ① 不思議だ ② 身分が低い ③ みすぼらしい

ア 心にうつりゆくよしなしごとを、そこはかとなく書きつくれば、あやしうこそものぐるほしけれ。（徒然草・序段）

番号 ＿＿ 手がかり ＿＿＿＿

イ あやしの竹の編戸のうちより、いと若き男の、月影に色あひさだかならねど、つややかなる狩衣に濃き指貫、……（徒然草・第四十四段）

番号 ＿＿ 手がかり ＿＿＿＿

2 わたる （動詞ラ行四段活用） 意味の一覧 ① 移動する ② 一面に〜する ③ 〜し続ける

ア 東西は海ちかくていとおもしろし。夕霧たちわたりて、いみじうをかしければ（更級日記）

番号 ＿＿ 手がかり ＿＿＿＿

イ 因幡の国に、何の入道とかやいふものの女、かたちよしと聞きて、人あまたいひわたりけれども（徒然草・第四十段）

番号 ＿＿ 手がかり ＿＿＿＿

ウ 舟にてわたりぬれば、相模国になりぬ。（更級日記）

番号 ＿＿ 手がかり ＿＿＿＿

3 おこたる （動詞ラ行四段活用） 意味の一覧 ① 病気がよくなる ② 怠ける・油断する

ア 念仏の時、睡りにをかされて行をおこたり侍ること、いかがしてこの障りをやめ侍らむ。（徒然草・第三十九段）

番号 ＿＿ 手がかり ＿＿＿＿

イ いみじく苦しければ、天竜といふ川のつらに、仮屋つくり設けたりければ、そこにて日ごろすぐるほどにぞ、やうやうおこたる。（更級日記）

番号 ＿＿ 手がかり ＿＿＿＿

4 おどろく （動詞・カ行四段活用） 意味の一覧 ① 目を覚ます ② はっと気がつく ③ 驚く

ア わづらふ姉おどろきて、……など問へば、夢にこの猫のかたはらに来て（更級日記）

番号 ＿＿ 手がかり ＿＿＿＿

イ 暁になりやしぬらむと思ふほどに、山の方より人あまた来るおとす。おどろきて見やりたれば、鹿の縁のもとまで来てうち鳴いたる（更級日記）

番号 ＿＿ 手がかり ＿＿＿＿

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「古文単語プリント」のプリント一覧がひらきます

古文単語 本文で意味を決める ②【こたえ】

高校／同じ単語でも本文によって意味が変わる

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

日付 ＿＿＿＿＿＿＿＿

赤い字がこたえです。手がかりは例で、同じ理由を示す別の語句でも正解にします。
「→」のあとは、その意味に決まる理由です。番号だけ合って手がかりが言えないときは、理由を確かめましょう。

1 あやし （形容詞シク活用） 意味の一覧 ① 不思議だ ② 身分が低い ③ みすぼらしい

ア 心にうつりゆくよしなしごとを、そこはかとなく書きつくれば、あやしうこそものぐるほしけれ。（徒然草・序段）

→ 書き手自身の心のようすを言う。身分や見た目の話ではない

番号 ① 手がかり **ものぐるほしけれ**

イ あやしの竹の編戸のうちより、いと若き男の、月影に色あひさだかならねど、つややかなる狩衣に濃き指貫、……（徒然草・第四十四段）

→ 修飾先が人ではなく戸（物）なので身分は言えない。粗末な戸

番号 ③ 手がかり **竹の編戸**

2 わたる （動詞ラ行四段活用） 意味の一覧 ① 移動する ② 一面に～する ③ ～し続ける

ア 東西は海ちかくていとおもしろし。夕霧たちわたりて、いみじうをかしければ（更級日記）

→ 霧が立つ動作に付き、霧が広がりわたる

番号 ② 手がかり **夕霧たち**

イ 因幡の国に、何の入道とかやいふものの女、かたちよしと聞きて、人あまたいひわたりけれども（徒然草・第四十段）

→ 動詞「いふ（言い寄る）」の連用形に付き、動作が続く。あまたの人が求婚し続ける

番号 ③ 手がかり **いひ**

ウ 舟にてわたりぬれば、相模国になりぬ。（更級日記）

→ 舟で川を越え、次に国の名が変わる＝場所の移動

番号 ① 手がかり **舟にて**

3 おこたる （動詞ラ行四段活用） 意味の一覧 ① 病気がよくなる ② 怠ける・油断する

ア 念仏の時、睡りにをかされて行をおこたり侍ること、いかがしてこの障りをやめ侍らむ。（徒然草・第三十九段）

→ 眠気に負けて念仏の行を続けられない

番号 ② 手がかり **睡りにをかされて**

イ いみじく苦しければ、天竜といふ川のつらに、仮屋つくり設けたりければ、そこにて日ごろすぐるほどにぞ、やうやうおこたる。（更級日記）

→ 苦しんで仮屋で日を過ごしたあとの変化

番号 ① 手がかり **いみじく苦しければ**

4 おどろく （動詞・カ行四段活用） 意味の一覧 ① 目を覚ます ② はっと気がつく ③ 驚く

ア わづらふ姉おどろきて、……など問へば、夢にこの猫のかたはらに来て（更級日記）

→ 夢の話をしている＝それまで眠っていた

番号 ① 手がかり **夢に**

イ 暁になりやしぬらむと思ふほどに、山の方より人あまた来るおとす。おどろきて見やりたれば、鹿の縁のもとまで来てうち鳴いたる（更級日記）

→ 起きて考えごとをしていた。眠っていないので「目を覚ます」は合わない（③も正解）

番号 ②③ 手がかり **思ふほどに**